

GK情報レポート

【2009年発行】

vol. 21

夏号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

神奈川県相模原市宮下1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

http://www.gondametal.co.jp

Contents

1. 『平成21年度塑性加工春季講演会』に展示・出展
2. 第13回機械要素技術展
3. アルミリングについて
4. GKギャラリー
5. GK沿革（19回）『さらなる発展に向けて』
6. 相場情報『2009年第3四半期見通し』

皆様でご覧下さい。

回
覧
印

※バックナンバー（Vol.1～20）をご用意しております。ご希望の方は当社営業部までお気軽にお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

1. 『平成 21 年度塑性加工春季講演会』に展示・出展



開催日 : 2009 年 5 月 30 日 (土) ~ 31 日 (日)
会場 : 京都大学 吉田キャンパス
共催 : (社)日本塑性加工学会・(社)日本機械学会
展示 パネル : GKの製法『GTS』の紹介
GKの AZ61 合金薄板の特徴,物性値
展示品 : AZ61 合金コイル(t0.8xw400xL69m)
AZ61 シート(t0.8~t3.0)
AZ61 プレス加工品(ノートパソコン、
携帯電話の筐体)
AZ61 メッキ,電着塗装加工品
AZ61 溶接加工 (TIG 溶接)
AZ61 携帯電話用基板分割治具
AZ61 型打ち鍛造品
出展社数 : 14 社
来場者数 : 約 50 名

『平成 21 年度塑性加工春季講演会』では、塑性加工に関する論文発表や企業の展示が行われました。(社)日本塑性加工学会(会員数 3,835 名、賛助会員 360 社)は、塑性加工に関する研究・発表への協力、塑性加工に関する学術上の進歩向上に寄与する各種事業活動を行っています。その事業活動の一環で塑性加工に関する研究発表会が、開催されました。論文発表は 5 つのテーマセッションに分けられ、マグネシウム合金に関しては「マグネシウム合金の最新塑性加工技術」という題目で 2 日間研究発表が行われました。その講演会場に併設された展示会場に、出展しました。マグネシウム合金は軽量であるのに強度が高いという利点から、現在アルミニウム合金から製造されている製品の代替品として注目されています。しかし、マグネシウム合金は結晶構造の関係から冷間加工性が悪く、室温でのプレスが困難となっています。テーマセッションでは冷間加工性を上げるための研究が盛んに行われている印象を受けました。当社は、マグネシウム合金の中でも「AZ61」と呼ばれるアルミニウムを 6%・亜鉛を 1%添加した合金の薄板を製造しています。AZ61は、AZ31よりも強度・耐食性・表面処理性が高いといわれています。今回は講演会が主体の展示会ではありませんでしたが、休憩時間等には多くの方々に展示ブースを見て頂きました。メッキされたサンプルに興味深く見て頂いたり、塑性加工を研究されて頂き、マグネシウム合金に対する関心の高さを感じました。



マグネシウム合金製品はパソコンや携帯電話の筐体、自動車部品などに実用化されはじめており、研究も多く行われている段階です。講演会、展示会を通してマグネシウム合金の将来性は非常に高いものだと感じました。

記者 マグネシウム課 畑 友美

2. 第13回機械要素技術展

会 期：09年6月24日(水)～26日(金)

会 場：東京ビッグサイト

主 催：リード エグジビション ジャパン (株)

入場者数：24日 23,433人 25日 24,451人 26日 27,382人

合計 75,266人

機械要素技術展は最新の機械・加工技術に直接触れることが出来、出展企業が多いことから各企業の最新情報を比較検討できる場として人気の高い展示会です。そのため入場者数が多いことで有名です。入場者数は3日間で、08年8万9千人、09年7万5千人でした。

権田金属工業は今回、茨城マグネシウム工業会のブースに出展しました。

茨城マグネシウム工業会とは茨城県内外の43社が、これからの金属であるマグネシウムのあらゆる需要に対応すべく結成した企業連携体で、当社も加盟しています。

人や環境にやさしいマグネシウムは、軽量で強度があり、振動吸収性、シールド性、リサイクル性など優れた金属です。

茨城マグネシウム工業会は、この特性を最大限に生かした製品づくりを目指しています。

茨城マグネシウム工業会のブースには、工業会に所属している企業が簡易台車、背負子、プレスでボスを出した製品他多数を展示しました。

権田金属工業はプレス加工した製品を出展しました。

来場された方々は、手にとってマグネシウムが軽量化に役立つことを実感されていました。手ごたえとして、当社の展伸材が将来的に広く普及してゆくことを実感した展示会でした。



記者 高安

3. アルミリングについて

当社では伸銅品メーカーとしては唯一、1000 t 油圧プレス機とリングローリングミルを所有しています。これらの設備を使用し、銅・黄銅・アルミ他のシームレスリングを製造、販売しています。

当社では、アルミリングは熱間鍛造とローリングミルによる組み合わせで製造しています。ローリングミル製法は、リング形状の素材を回転させながら圧延を行なうため、メタル組織が円周方向に流れ、結晶組織が安定した素材の製品になります。

一方、板などからの切り抜いた製品は、メタル組織が元々圧延方向に流れているため、ねじれやひずみといった問題が発生することがあります。

この結晶組織の違いから、ローリングミル製法で製造した方が、寸法精度や加工のし易さに大きな差がでます。

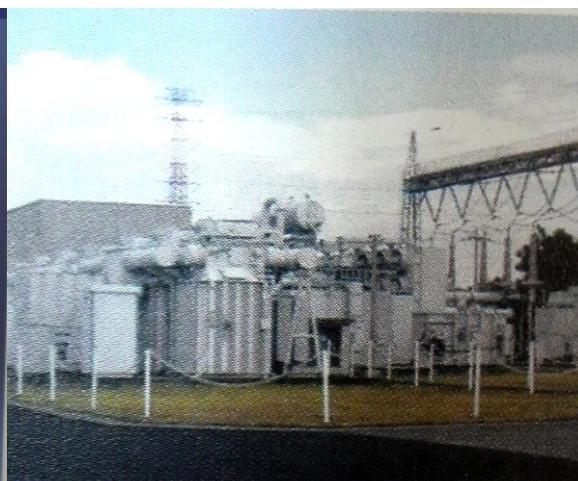
- ・ 取扱い品種（実績）：A5052、A5083、A6061
- ・ サイズ : 外径 300Φ台～600Φ台
 (但し、肉幅により多少製造できるサイズが異なります)
- ・ 用途 : 機密性が要求されるガス絶縁開閉装置や半導体製造装置のフランジなど。

その他の品種についてはご相談下さい。

また、抗張力や硬さなどの改善を行なう T6 熱処理を行なうことが出来ます。



アルミリング



アルミタンク接続部分

記者 工藤

4. GKギャラリー

GK会

2009年6月11日（木）に第107回GK会を開催しました。GK会は当社とお取引先
頂いている会社との親睦、情報交換を目的として年2回開催しているゴルフの会です。
当日は早朝から雨が降っていましたが、スタートする頃には雨も止み、皆さん楽しく
プレイやお話をされていました。優勝は株式会社笹野マックスの笹野社長、第二位が
新鋭産業株式会社の守田専務、第三位が横浜伸銅株式会社の鈴木部長という結果でした。
次回は2009年秋に開催の予定です。



バーベキュー・ソフトボール大会

2009年5月16日（土）に新入社員歓迎と社員の親睦を目的として相模川河川敷で
バーベキューと近くの野球場でソフトボールを行ないました。当日はあいにくの曇り空
でしたが、家族を連れて来た社員もおり、30名以上が参加しました。バーベキューでは
普段の仕事ではあまり関わらない社員同士でも一緒に盛り上がり、ソフトボールでは
ベテラン社員と若手社員でチーム分けをして試合を行ない、若手チームが序盤から
リードを保ったまま勝利しました。皆それぞれ楽しい思いをした一日でした。



記者 日吉

5. 権田金属の沿革

昭和 47 年から持ち直し始めた景気は 47 年 10 月の OPEC(石油輸出機構)による 70% 近い原油値上げを機にオイルショックをもたらし、日本でもトイレットペーパーや洗剤不足といった社会不安を起こす事態になりました。権田金属工業(株)もこの余波を受けました。48 年末当時は 800 トンの受注残があり仕事がありました。その後、急ピッチな価格下落や取引中止が相次いで受注減となりました。しかしながら、前年開設した東京営業所が抱えていた在庫品の売りつなぎや権田ビルの家賃収入、不断の合理化により、この異常不況もなんとか乗り切ることが出来ました。この当時、権田忠志社長は「伸銅所というのは 2、3 ヶ月注文が減ると、その後には必ずこの補充買いがきて注文、価格も回復していく繰り返しである」と述懐しています。そんなサイクルに持ちこたえられず、このオイルショックで廃業もしくは倒産した同業者は大小 20 社から 30 社ありました。昭和 40 年当初 130 社くらいあった伸銅所はその後 10 年間で 100 社くらいになり、このオイルショックを機に 50 社ほどになったとされています。そうした中で権田金属工業(株)は生き残り、昭和 49 年 5 月には資本金を 6 千万円まで増資するに至りました。しかもこの時期、社内改革にも取り組み、役員定年の申し合わせを行いました。取締役は 61 歳、常務取締役以上は 63 歳、社長は 65 歳を任期にしました。また、昭和 50 年にはそれまで 7 時間だった定時間を 1 日 8 時間作業にして土曜日も休日とする週休 2 日制を業界で先がけて実施もしました。 創立 80 周年誌「あゆみ」より

6. 相場情報

1、 電気銅建値推移

09,4 月・・・450 円スタート (4 月平均 496.6 円)
09,5 月・・・520 円スタート (5 月平均 497.6 円)
09,6 月・・・510 円スタート (6 月平均 526.3 円)
09,7 月・・・530 円スタート

2、 LME 在庫状況及び需要状況

LME 指定倉庫在庫は 09 年 2 月 26 日に 54 万 8,400 トンをピークに徐々に在庫は減り続け、7 月初めには 26 万 6,000 トンまで減少した。

需要面では電力や鉄道に重点投資されている中国での 4 兆元の景気対策に伴う需要の増加で、中国政府は 09 年 1 月～5 月までの 5 ヶ月間で昨年一年間の輸入量にあたる銅地金約 140 万トンを入力。日本の中国向けの電気銅の輸出も好調であった。しかし、6 月初旬頃から中国国内で銅地金の在庫が積み上り、中国の買い付けが落ち込んでいる。また銅の主要な需要先である自動車業界は販売低迷が続く、エレクトロニクス業界でも販売不振が続いており、期待が出来ない状況。

供給面では中国の銅鉱山で生産障害や、インドネシアの銅鉱山での品位低下による減産、

チリの銅鉱山での操業トラブルなどがあったが、米国、ペルー、オーストラリアでは増産となった。中国以外の国での需要が少ないので、供給が増える傾向にある。当初 09 年の見通しは世界年間需要量 1,700 万トンに対し、27 万トンの供給過多となる予測が出ていたが、中国の 4 兆元の景気対策の影響により需要と供給は均衡しそうだ。

3、為替の見通し

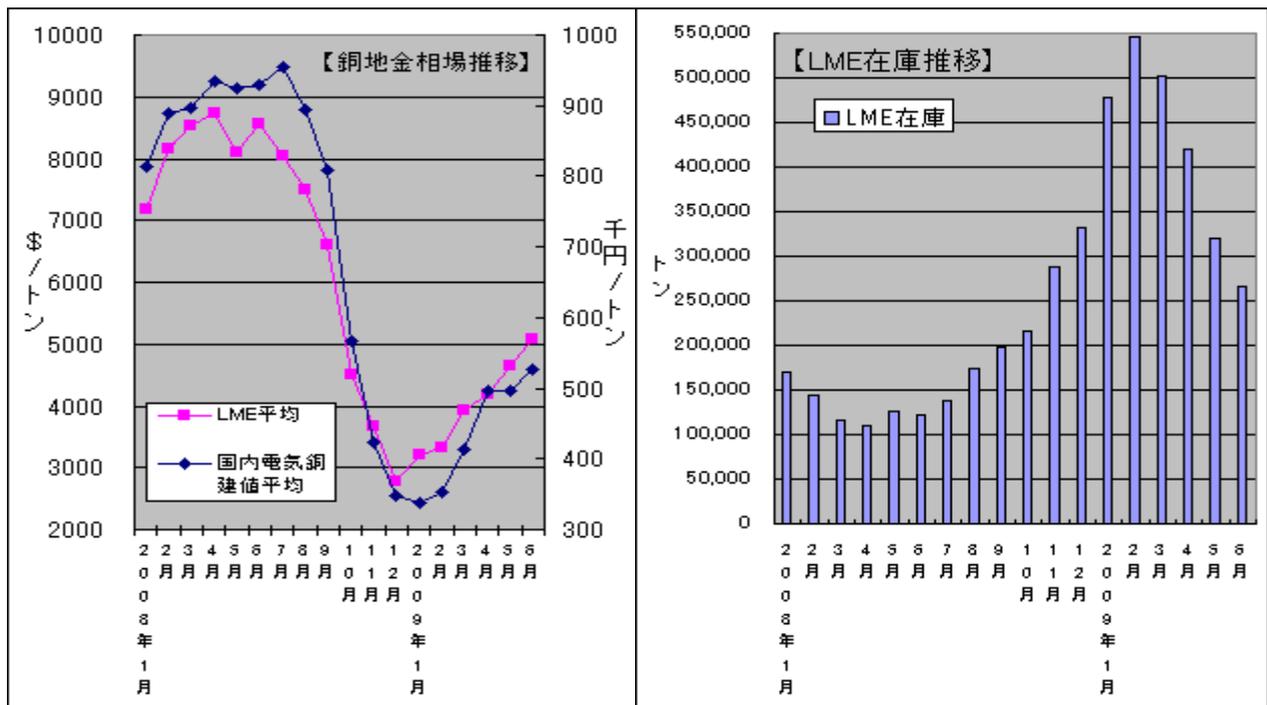
6 月 1 日に米国自動車会社 GM が米国連邦破産法 11 条を申請し、実質的に政府の管理下で再建が図られることが発表されると、一時的にドルが買われた。

原油相場では全米の原油在庫が減少したことや長期金利が上昇したことが背景となり、1 バレル=70 ドル台まで回復。米国債の売れ行きが悪く、今後も商品相場に投機が流れ込むことが予想され、原油相場上昇の可能性は高い。

米国の景気の先行き不透明感を背景に、しばらく円高・ドル安の状態が続くと思われる。

4、相場の見通しと予測

5 月は LME \$ 4,400~4,700 で推移。ニューヨーク株は若干の回復が見られるものの、運用先に困った資金が再び銅相場、原油先物市場につき込まれ始め、6 月は \$ 5,000 前後で推移。中国の銅消費の減速は一時的との見方が強く、今後も中国による銅地金の買い上げは続くことが予想される。年内には \$ 6,000 台に到達する展開もありうる。



短期予測（1M）：LME \$ 4,600~5,600

為替 94~99 円

銅建値 480~600 円

長期予測（3M）：LME \$ 4,500~6,000

為替 94~105 円

銅建値 450~650 円

記者 工藤